

令和5年度 施策評価表 (令和4年度実績分)

【足立区子ども・子育て支援事業計画】

足立区教育委員会

子ども家庭部子ども政策課

はじめに

平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援新制度」に伴い、足立区においても第1期に引き続き、令和2年3月に「第2期足立区子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。第1期の取り組みの成果や課題を踏まえ、「子育ての質の向上」と、支援が途切れないよう、「ライフステージ間のつなぎの強化」を重要な視点とし、各計画とも連携しながら、切れ目のない支援による子育て環境の充実を目指し取り組んでいます。

第2期計画でも、令和6年度までに足立区が取り組むべき施策を定めるとともに、各年度毎に実績を評価していきます。

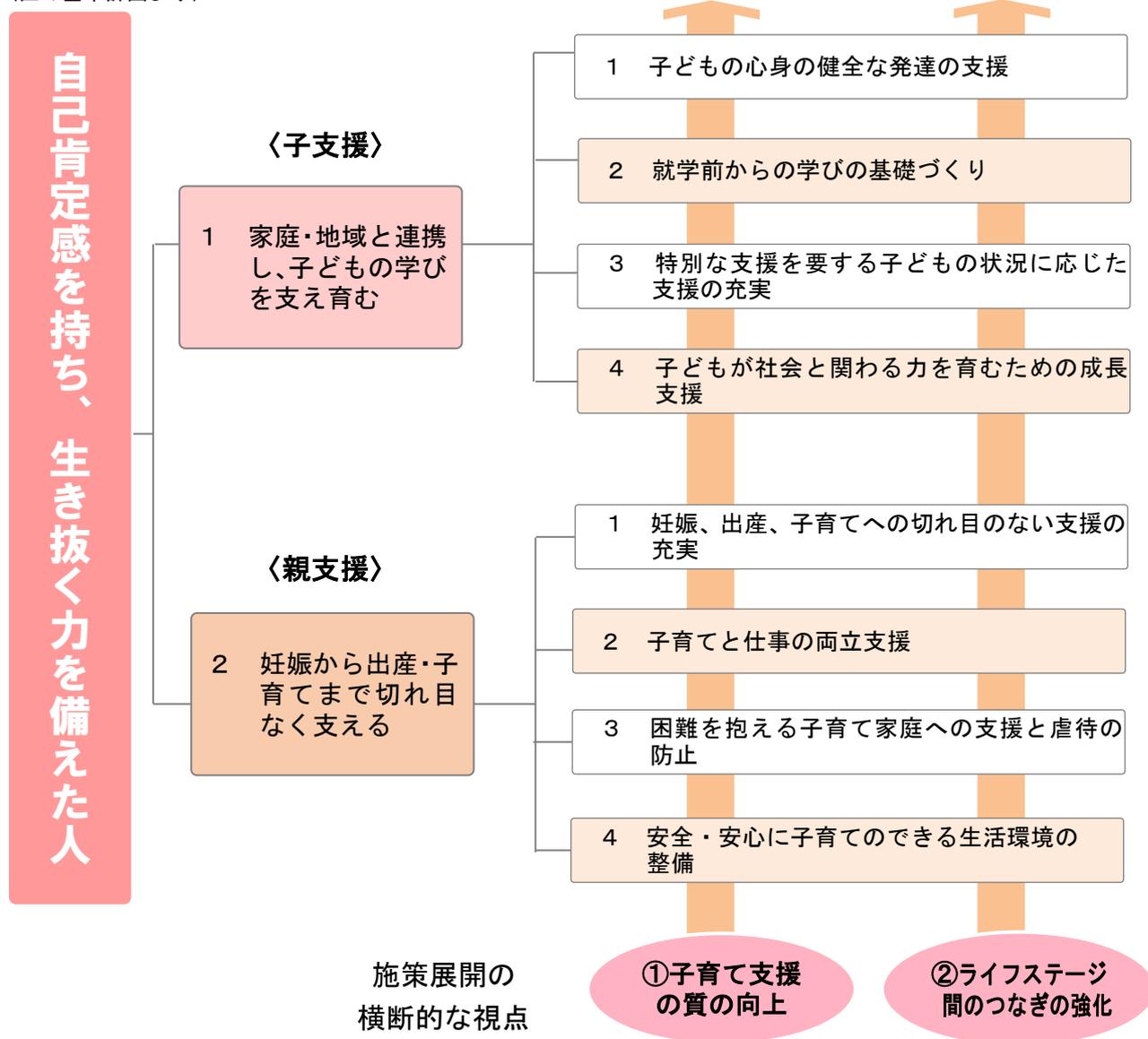
※計画の進捗状況の管理については、PDCA サイクルのもと対象事業の実施状況等について客観的かつ専門的な立場から意見交換、調査・審議を行います。

【子ども・子育て支援事業計画の体系】

[柱立て]
(区の基本計画より)

[施策群]

[施策]



●各施策別の総合評価一覧（兼 目次）

【施策群1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
1-1 子どもの心身の健全な発達の支援	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合	3.5	P 6
	1日3食、野菜（おかず・汁物など）を食べる幼児の割合		
	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合		
1-2 就学前からの学びの基礎づくり	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合	4.0	P 8
	基本的生活習慣が身についている小学校1年生の割合		
1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合	5.0	P 10
	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合		
1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合	4.0	P 12
	あだち放課後子ども教室利用者満足度		

【施策群2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える】

施策	成果指標	2次評価 (5点満点)	該当頁
2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実	子育ては楽しいと感じる割合	4.0	P 14
	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合		
2-2 子育てと仕事の両立支援	保育需要に対する待機児童率【低減目標】	3.0	P 16
	学童保育室の待機児童率【低減目標】 「男女が対等な立場で意思表示や活動をすることができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合		
2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止	児童虐待解決率	4.0	P 18
	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数		
2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値【子ども子育てに関係する事業】	5.0	P 20
	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合		

【評価の流れ】

1次評価（自己評価） P.4・5

各事業の担当課にて、①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」および②「成果指標」の評価を実施。

①「施策の手段として位置付ける主な事務事業の進捗状況の活動指標」

- 目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。
- 施策への貢献度、今後の方針、実績が目標値に対してどの程度どのように達成されたかを分析し、【総合評価】（課長評価）に記載。

②成果指標

- 担当課において目標値を設定し、評価する年度の実績値を記載。施策評価、2つの視点「子育て支援の質の向上」「ライフステージ間のつながりの強化」を踏まえた今後の方向性を記載。



2次評価（子ども家庭部による評価） P.4

① 重点プロジェクト事業の庁内ヒアリング（2次評価）に同席するなど、関連する事業についての情報を共有化。

② 各事業担当課による1次評価（自己評価）と上記①で共有化した情報などを踏まえ、子ども家庭部（子ども政策課）にて各事業の方向性等を以下の5段階で総合的に評価。

③ 評価点（5点満点） **5**（良い） ←————→ **1**（悪い）



3次評価（外部評価）

1次、2次評価の内容について、足立区地域保健福祉推進協議会（子ども支援専門部会含む）にて委員から意見を聴取

施策【1-1】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			65	65	73	90		R6 目標
	実績値		-	68.3	72.2	88.2			75%
	達成率			105%	111%	121%	0%		
指標 2	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数/アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			33	36	39	42		R6 目標
	実績値		28.7	28.8	28.2	27.5			45%
	達成率			87%	78%	71%	0%		
指標 3	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			76	77	78	79		R6 目標
	実績値		75.5	77.1	79.5	80			80%
	達成率			101%	103%	103%	0%		

1次評価
(自己評価)

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】年々増加しており、引き続き目標値を上回った。希望調査時に実施園での好事例を紹介したことで利用意欲が高まり、生活リズム定着の意識付けにつながったと考えられる。

【指標2】実績値は微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、新型コロナウイルス感染症の流行により、健康教室や健康相談等が中止となった影響が続いていると考える。

【指標3】実績値はほぼ横ばいである。保育園での絵本の貸出や、令和4年7月に開設した綾瀬小学校「わくわく にこにこ 図書森」での絵本の貸出やおはなし会の開催、「あだち電子図書館」の蔵書拡大によって、絵本に親しむ機会を提供できたと考えられる。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

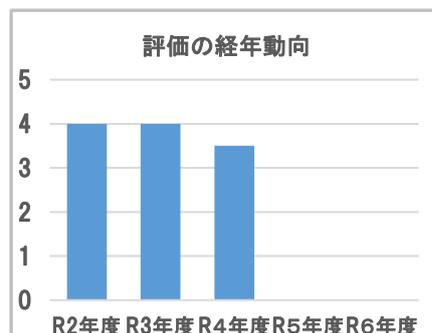
【指標1】引き続き、各園で行われているカレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の活用方法の紹介や使い方の工夫も含めた提案を行う。また、未実施園を中心に直接紹介するなどアウトリーチ型の提案も行い、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣定着を図っていく。

【指標2】令和4年度下期からは、幼稚園や保育園向けの教室も徐々に再開した。令和5年度は本格的に再開し、野菜から食べるなど望ましい食習慣の定着を図っていく。

【指標3】乳幼児期については、「あだちはじめてえほん」や「あだち電子図書館」の利用促進により、本に親しめる機会の充実を図る。さらに小学生については、配付されたタブレットの活用により、学年に合わせたおすすめ本の紹介を行う。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次 評価 R4年度	①「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーが普及し、生活リズムが定着しつつあることは評価できる。今後は、アウトリーチ型の提案で更なる定着を図ってほしい。
3.5	②新型コロナウイルスの影響で、健康教室や健康相談が中止となり、啓発活動がまだ十分でないため、1日3食野菜を食べる幼児の割合が微減となった。今後は、幼稚園や保育園での食育を本格的に推進し、子どもの心身の健全な発達を支援してほしい。
	③綾瀬小学校で絵本の貸出を開始し、絵本に親しむ機会を増やしたものの、1歳6か月児健診会場の近くに絵本の引換施設がないと引換率が低い傾向がある。迅速に改善し、絵本に親しむ機会をさらに増やしてほしい。



2次評価
(子ども家庭部による
評価)

施策【1-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義	R2	R3	R4	R5	R6
①早寝・早起き・朝ごはんの推進【青少年課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数(園数)	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、 私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証 保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50 園、 《【】内は対象園(全園)》	目標値 170 [223]	169 [221]	174 [218]	174 [217]	188 [201]
	実績値		158 [223]	162 [221]	156 [218]		
	達成率		93%	96%	90%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価) チェックブック(4週間版)は明確な目標が設定されていることや楽しんで取組めることから好評である。カレンダー(1年間版)も実施園では子ども自身の意識付けにつながり好評であったが期間が長く負担感を感じ実施を躊躇する園も一定数ある。活用方法の好事例紹介や未実施園に対するアウトリーチ型提案により取組み園を増やしていく。					
A	改善・変更						
②食育の推進事業【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数(園数)	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 (現状値内訳)区立保育園・認定こども園30園、 私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証 保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園 50園 《【】内は対象園(全園)》	目標値 113 [221]	168 [221]	170 [218]	180 [218]	150 [201]
	実績値		156 [221]	167 [221]	174 [218]		
	達成率		138%	99%	102%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	栄養士が各園の巡回訪問時に実施方法などの具体的な支援をしたことにより、実施施設は増加し、目標値を達成した。今後は、実施施設が少ない私立幼稚園・認定こども園の食育の状況を把握し、未実施園には、巡回訪問し、ひと口目は野菜から食べることの大切さを伝えていく等、支援体制を強化していく。					
A	現状維持						
③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3~4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値 638 [12,000]	641 [11,920]	644 [11,840]	647 [11,760]	650 [11,700]
	実績値		206 [4,257]	237 [3,819]	472 [5,758]		
	達成率		32%	37%	73%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	新型コロナウイルス感染症の流行の影響がありながらも、3~4か月児健康診査は4月から再開した。しかし、育児学級は9月以降再開、健やか親子相談も一部実施としたため、目標値を大きく下回った。HPへの動画掲載や家庭への啓発用リーフレット配布などの工夫に加え、個別栄養相談を実施した。食育啓発の大切な機会である健康教室等で、今後も根気強く伝えていくことが重要と考えている。					
A	現状維持						
④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数(人)	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数《【】内は回数と対象者(送付人数)》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値 1600 ①[750] ②[850] ③[700]	1900 ①[750] ②[450]	1150 ①[550] ②[650]	650 ①[650]	2000 ①[750] ②[650] ③[600]
	実績値		1595 ①[747] ②[848]	1742 ①[658] ②[367] ③[717]	1323 ①[634] ②[689]		
	達成率		100%	92%	115%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	令和4年度は未受診者への受診勧奨ハガキ送付回数の見直しを行ったが、送付物をカラー版に変更し視覚に訴えるよう工夫したことで、回数を減らしたことによる受診率への影響はみられなかった。事前周知ハガキ(初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ)についても、ハガキ送付後から健診票送付までの期間中、保護者からの問合せはなく効果が低いことから、令和5年度は送付を取りやめ、未受診者への受診勧奨ハガキのみの送付に変更するが、ハガキの内容見直しをさらに進め受診に繋げていく。					
A	現状維持						
⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数(回)	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数《【】内は参加延べ人数》※令和4年度より読書活動推進事業の回数を、読み語りイベントだけでなく出張による特集展示や貸出などの回数を含めたため	目標値 10 [360]	20 [720]	30 [1,080]	120 [2,000]	200 [2,500]
	実績値		5 [576]	10 [620]	104 [1,645]		
	達成率		50%	50%	34%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	普段図書館を利用していない人でも気軽に参加できるよう、シアター1010や天空劇場での読み語りイベントや、本をテーマにしたシェアハウス「読む団地」(ジェイヴェルデ大谷田)において本の交換会を開催した。また、新たな試みとして生物園のイベントでの出張おはなし会や千本桜まつりではおはなし会やワークショップなどの出張イベントを行い、本に親しむ機会を創出した。					
A	改善・変更						
⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数(1歳6か月児)(人)	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【】内は全健診対象者》	目標値 3745 [5,350]	3745 [4,818]	3,800 [4,724]	3,850 [4,724]	3,900 [4,589]
	実績値		3120 [5,350]	2687 [4,818]	2,996 [4,724]		
	達成率		83%	72%	79%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	令和3年度よりも引換人数は増えたものの目標値を下回った。健診会場である保健センターごとに引換状況を分析したところ、健診会場の近くに引換施設がないと引換率が低いことが判明した。令和5年度は引換率の低い健診会場に出張して絵本の引換を行うなど即効性のある改善策を実施し、より多くの子どもとその保護者が本に親しめる環境整備に努める。					
A	改善・変更						

1次評価
(自己評価)

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 1

家庭・地域と連携し、
子どもの学びを支え育む



施策【1-1】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-1 子どもの心身の健全な発達の支援
施策の方向	食育や歯科健診の取り組み、読書習慣、運動遊びなど、子どもの心と体の基盤となる生活習慣づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	早寝・早起き・朝ごはんを心がけるようになったと回答した方の割合							
	定義	年1回取り組んだ保育園、保護者等に実施したアンケートで「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけるようになったと回答した方の割合 ※令和3年度から令和6年度の目標値を65%から75%に変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			65	65	73	90		目標値
	実績値		-	68.3	72.2	88.2			75%
	達成率			105%	111%	121%	0%		
指標 2	指標名	1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べる幼児の割合							
	定義	3歳児健康診査アンケートによる集計値(1日3食、野菜(おかず・汁物など)を食べると回答した件数/アンケートの回収件数)							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			33	36	39	42		目標値
	実績値		28.7	28.8	28.2	27.5			45%
	達成率			87%	78%	71%	0%		
指標 3	指標名	「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	定義	4～5歳児を対象とした、生活・ベジタベアンケートで、「親子で絵本を読む」と回答した方の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6 目標値
	目標値			76	77	78	79		目標値
	実績値		75.5	77.1	79.5	80			80%
	達成率			101%	103%	103%	0%		

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

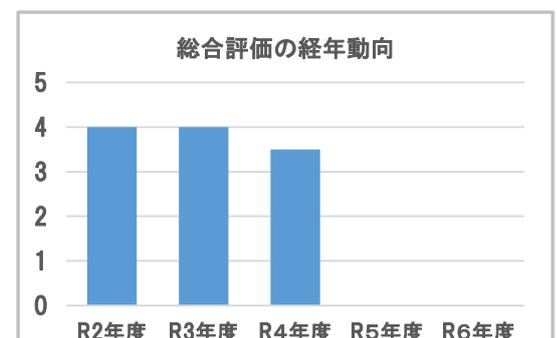
【指標1】年々増加しており、引き続き目標値を上回った。希望調査時に実施園での好事例を紹介したことで利用意欲が高まり、生活リズム定着の意識付けにつながったと考えられる。
【指標2】実績値は微減となった。1日3食、野菜を食べることの重要性は徐々に定着しているが、新型コロナウイルス感染症の流行により、健康教室や健康相談等が中止となった影響が続いていると考える。
【指標3】実績値はほぼ横ばいである。保育園での絵本の貸出や、令和4年7月に開設した綾瀬小学校「わくわく にこにこ 図書森」での絵本の貸出やおはなし会の開催、「あだち電子図書館」の蔵書拡大によって、絵本に親しむ機会を提供できたと考えられる。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】引き続き、各園で行われているカレンダー(1年間版)・チェックブック(4週間版)の活用方法の紹介や使い方の工夫も含めた提案を行う。また、未実施園を中心に直接紹介するなどアウトリーチ型の提案も行い、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣定着を図っていく。
【指標2】令和4年度下期からは、幼稚園や保育園向けの教室も徐々に再開した。令和5年度は本格的に再開し、野菜から食べるなど望ましい食習慣の定着を図っていく。
【指標3】乳幼児期については、「あだちはじめてえほん」や「あだち電子図書館」の利用促進により、本に親しめる機会の充実を図る。さらに小学生については、配付されたタブレットの活用により、学年に合わせたおすすめ本の紹介を行う。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合 評価	①「早寝・早起き・朝ごはん」カレンダーが普及し、生活リズムが定着しつつあることは評価できる。今後は、アウトリーチ型の提案で更なる定着を図ってほしい。 ②新型コロナウイルスの影響で、健康教室や健康相談が中止となり、啓発活動がまだ十分でないため、1日3食野菜を食べる幼児の割合が微減となった。今後は、幼稚園や保育園での食育を本格的に推進し、子どもの心身の健全な発達を支援してほしい。 ③綾瀬小学校で絵本の貸出を開始し、絵本に親しむ機会を増やしたものの、1歳6か月児健診会場の近くに絵本の引換施設がないと引換率が低い傾向がある。迅速に改善し、絵本に親しむ機会をさらに増やしてほしい。
R4年度	
3.5	



施策【1-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
1	①早寝・早起き・朝ごはんの推進【青少年課】	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園数 (園数)	「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園、 《【】内は対象園(全園)》	目標値	170 【223】	169 【221】	174 【218】	174 【217】	188 【201】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	158 【223】	162 【221】	156 【218】		
	A	改善・変更	【総合評価】 (課長評価)	チェックブック(4週間版)は明確な目標が設定されていることや楽しんで取組めることから好評である。カレンダー(1年間版)も実施園では子ども自身の意識付けにつながり好評であったが、期間が長く負担を感じ実施を躊躇する園も一定数ある。活用方法の好事例紹介や未実施園に対するアウトリーチ型提案により取り組み園を増やしていく。	達成率	93%	96%	90%	0%
2	②食育の推進事業【子ども施設指導・支援課】	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数(園数)	「ひと口目は野菜から」の取り組み園数 4、5歳児の在籍園 〈現状値内訳〉区立保育園・認定こども園30園、私立保育園112園、公設民営保育園15園、認証保育所11園、私立幼稚園・私立認定こども園50園 《【】内は対象園(全園)》	目標値	113 【221】	168 【221】	170 【218】	180 【218】	150 【201】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	156 【221】	167 【221】	174 【218】		
	A	現状維持	【総合評価】 (課長評価)	栄養士が各園の巡回訪問時に実施方法などの具体的な支援をしたことにより、実施施設は増加し、目標値を達成した。今後は、実施施設が少ない私立幼稚園・認定こども園の食育の状況を把握し、未実施園には、巡回訪問し、ひと口目は野菜から食べることの大切さを伝えていく等、支援体制を強化していく。	達成率	138%	99%	102%	0%
3	③保健所での健康教育・食育の推進【保健予防課】	3～4か月児健康診査、育児学級、健やか親子相談の実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査・育児学級及び住区センターにおける健やか親子相談の実施回数 《【】内は参加者数》	目標値	638 【12,000】	641 【11,920】	644 【11,840】	647 【11,760】	650 【11,700】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	206 【4,257】	237 【3,819】	472 【5,758】		
	A	現状維持	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の流行の影響がありながらも、3～4か月児健康診査は4月から再開した。しかし、育児学級は9月以降再開、健やか親子相談も一部実施としたため、目標値を大きく下回った。HPへの動画掲載や家庭への啓発用リーフレット配布などの工夫に加え、個別栄養相談を実施した。食育啓発の大切な機会である健康教室等で、今後も根気強く伝えていくことが重要と考えている。	達成率	32%	37%	73%	0%
4	④あだちっ子歯科健診【子ども政策課】	歯科健診受診勧奨ハガキの送付者数(人)	初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ送付及び未受診者に対する継続的な受診勧奨ハガキの送付等延べ送付人数《【】内は回数と対象者(送付人数)》 ※令和4年度より認可外保育施設集団健診開始のため、目標値の見直しを実施	目標値	1600 ①【750】 ②【850】	1900 ①【750】 ②【450】 ③【700】	1150 ①【550】 ②【650】	650 ①【650】	2,000 ①【750】 ②【650】 ③【600】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	1595 ①【747】 ②【848】	1742 ①【658】 ②【367】	1323 ①【634】 ②【689】		
	A	現状維持	【総合評価】 (課長評価)	令和4年度は未受診者への受診勧奨ハガキ送付回数の見直しを行ったが、送付物をカラー版に変更し視覚に訴えるよう工夫したことで、回数を減らしたことによる受診率への影響はみられなかった。事前周知ハガキ(初回の未通園者全員への歯科健診受診勧奨ハガキ)についても、ハガキ送付後から健診票送付までの期間中、保護者からの問合せはなく効果が低いことから、令和5年度は送付を取りやめ、未受診者への受診勧奨ハガキのみの送付に変更するが、ハガキの内容見直しをさらに進め受診に繋げていく。	達成率	100%	92%	115%	0%
5	⑤図書館のアウトリーチ事業【中央図書館】	実施回数(回)	図書館に来ない人・来られない人に対して実施した読書活動推進事業の回数《【】内は参加延べ人数》 ※令和4年度より読書活動推進事業の回数を、読み語りイベントだけでなく出張による特集展示や貸出などの回数を含めた	目標値	10 【360】	20 【720】	30 【1,080】	120 【2,000】	200 【2,500】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	5 【576】	10 【620】	104 【1,645】		
	A	改善・変更	【総合評価】 (課長評価)	普段図書館を利用していない人でも気軽に参加できるよう、シアター1010や天空劇場での読み語りイベントや、本をテーマにしたシェアハウス「読む団地」(ジェイヴェルデ大谷田)において本の交換会を開催した。また、新たな試みとして生物園のイベントでの出張おはなし会や千本桜まつりでおはなし会やワークショップなどの出張イベントを行い、本に親しむ機会を創出した。	達成率	50%	50%	347%	0%
6	⑥あだちはじめてえほん【中央図書館】	絵本を受け取った人数(1歳6か月児)(人)	1歳6か月児健診時に区内図書館等で絵本を引き換えた人数 《【】内は全健診対象者》	目標値	3745 【5,350】	3745 【4,818】	3,800 【4,724】	3,850 【4,724】	3,900 【4,589】
	施策への貢献度	今後の方針		実績値	3120 【5,350】	2687 【4,818】	2,996 【4,724】		
	A	改善・変更	【総合評価】 (課長評価)	令和3年度よりも引換人数は増えたものの目標値を下回った。健診会場である保健センターごとに引換状況を分析したところ、健診会場の近くに引換施設がないと引換率が低いことが判明した。令和5年度は引換率の低い健診会場に出張して絵本の引換を行うなど即効性のある改善策を実施し、より多くの子どもとその保護者が本に親しめる環境整備に努めていく。	達成率	83%	72%	79%	0%

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-2】

1 施策の概要

担当課 子ども施設指導・支援課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-2 就学前からの学びの基礎づくり
施策の方向	乳幼児期の教育・保育内容の質の向上により、小学校教育へつながる子どもたちの学びの基礎づくりを推進します。

2 成果指標

指標 1	指標名	※1指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の※2巡回訪問等の際に改善されていた保育施設等の割合							
	定義	(算出式) $A \div B$ ※令和2年度から指標名の実地調査を巡回訪問等に変更 A:改善されていた保育施設等の総数 B:指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった保育施設等の総数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			100	100	100	100		目標値
	実績値		100	100	100	100			100%
	達成率			100%	100%	100%	0%		
<p>※1 指導検査 法令等に基づく指導</p> <p>※2 巡回訪問 指導検査で指摘等を受けた内容の確認や施設からの相談対応及び保育観察などの寄り添い支援</p>									
指標 2	指標名	基本的な生活習慣が身についている小学校1年生の割合							
	定義	基本的な生活習慣(挨拶や返事・姿勢良く座る・静かに話を聞く)が身についている1年生の人数÷1年生の児童総数 ※転出入を含む新1年生が対象のため、各年度90%を目標としていきます。							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			90	90	90	90		目標値
	実績値		90.6	88.4	86.9	87.8			90%
	達成率			98%	97%	98%	0%		

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】令和3年度に指導検査を実施した104施設のうち65施設に対し「文書指摘」または「口頭指導」を発したが、令和4年度巡回訪問において、全施設で改善されていることを確認し、目標を達成した。

【指標2】新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、基本的な生活習慣の取り組みも少しずつ行われたことから、子どもたちの活動が広がり、数値の伸びが見られた。(目標値に近づいた)

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】保育経験年数の浅い職員の多い施設が多いため、指導検査と巡回訪問によって施設に対しきめ細やかな支援を行っていく。また、子ども・子育て支援新制度に移行していない私立幼稚園や認証保育所等にも指導検査を拡大し、就学前教育・保育の質の向上を図っていく。

【指標2】通常の生活に戻つつある中で、子どもたちの体験の積み重ねを重要と捉え、日常の中に運動あそびを取り入れられるように研修の参加を促すとともに、幼保小連携活動を通して子どもの理解を深め、子どもの育ちにつなげていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価 R4年度	①保育施設等に対し、指導検査や巡回訪問による、きめ細やかな支援を行い、教育・保育の質の維持に繋がっており、評価できる。今後は、今まで実施していなかった施設にも指導検査を行い、教育・保育の質の向上に努めてほしい。
4	②子どもたちの集団活動が増え、保育施設等での保育者による直接的支援・指導が充実したことで、小学校1年生の基本的な生活習慣の定着に結び付いている。今後は、集合研修(運動)の参加者をさらに増やし、遊びを通して子どもの意欲を育み、幼保小連携活動で子どもの理解を深め、学びの基礎を作ってもらいたい。

総合評価の経年動向



施策【1-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6	
7	①教育・保育の質の維持・向上事業【子ども施設指導・支援課】	子ども・子育て支援法に基づく指導検査または巡回訪問等は巡回訪問等を実施した特定教育・保育施設等の割合(%)	(算出式) A÷B A:当該年度に指導検査または巡回訪問のいずれかを実施した保育施設等の数(計349) B:保育施設等の数(計350) 《【】内は保育施設等の数》	目標値	97	100	100	100	100	
					【333】	【332】	【350】	【347】	【371】	
				実績値	100	99.7	99.7			
					【344】	【331】	【349】			
	達成率	103%	99.7%	99.7%	0%	0%				
施策への貢献度	今後の方針	指導検査を142施設(私立認可59施設、小規模14事業所、家庭的保育32事業者、認可外2施設、私立幼稚園・こども園6園、認証保育所への集団指導29施設)及び巡回訪問を349施設(私立認可111施設、小規模27事業所、家庭的保育108事業者、認証33施設、認可外14、区立直営園30施設、公設民営16施設、私立幼稚園・こども園10園)に実施。巡回訪問及び事故確認の現地調査は延べ515回実施し、質の向上に努めた。令和5年度も計画的に指導検査と巡回訪問等を実施する。								
A	現状維持	【総合評価】 (課長評価)								
8	②就学前教育の推進【子ども施設運営課】	年齢別研修のうち、集合研修(運動)の参加人数	年齢別研修のうち、集合研修(運動)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭) 目標数=参加職員数(※研修定員数の7割程度を想定) 《【】内は定員数》	目標値	420	420	420	420	420	
					【600】	【600】	【600】	【600】	【600】	
				実績値	355	367	350			
			【600】	【600】	【600】					
			達成率	85%	87%	83%	0%	0%		
		幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合(%)	幼保小連携ブロック会議におけるあだち幼保小接続期カリキュラムの活用割合 《【】内はブロック数》 ※令和3年度からブロック会議に交流活動含む	目標値	100	100	100	100	100	
	【13】			【13】	【13】	【13】	【13】			
実績値	0			100	100					
		【13】	【13】	【13】						
	達成率	0%	100%	100.0%	0%	0%				
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】年齢別研修では、運動あそびの内容を周知しきれなかったことと、私立園においては、体育専門講師が導入されていることから参加者の増につながらなかった。幼児期においては技術面の向上だけではなく、運動あそびを通して、子どもの意欲や有能感を育むことにつながることをわかりやすく伝えていく必要がある。幼保小接続期カリキュラムの活用については、13ブロックで会議を開催することができた。								
A	改善・変更	【総合評価】 (課長評価)								

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-3】

1 施策の概要

担当課

支援管理課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む
施策	1-3 特別な支援を要する子どもの状況に応じた支援の充実
施策の方向	発達障がいなど様々な悩みや課題を抱える子どもたちが、それぞれの特性に応じた支援が受けられるように、支援体制を充実します。

2 成果指標

指標1	指標名	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合						
	定義	支援管理課で相談を受けた児童の特性を捉え、保護者同意のもと、必要に応じ関係機関と連携ができた割合 (相談連携件数÷連携が必要な相談件数)						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			97	98	98	98	
	実績値		90	97	98	98		
達成率			100%	100%	100%	0%		
指標2	指標名	発達支援児の行動上の課題が軽減した割合						
	定義	前年度に引き続き発達支援委員会で判定を受けた児童の内、保育現場での配慮を行ったことで、支援の程度が軽減若しくは現状維持したと判定された児童の割合 (支援軽減・維持人数÷継続支援児童数)						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			95	95	96	96	
	実績値		89	95	96	97		
達成率			100%	101%	101%	0%		
指標3	指標名							
	定義							
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値							
	実績値		-					
達成率								

3 担当課における施策評価

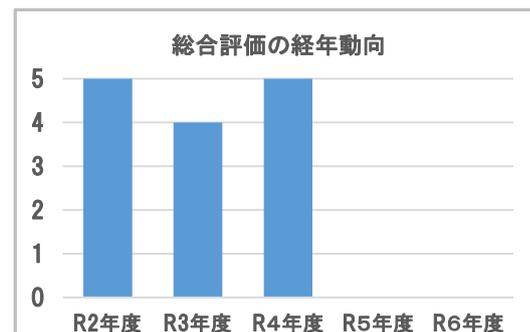
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつながりの強化

施策の達成状況とその要因分析
【指標1】来所相談時以降も相談員によるフォロー電話を定期的に行っており、保護者の不安軽減に努めたことで適切な支援機関につなげることができた。保護者の同意のもと関係機関とも連携を図ることで、関係機関に対しても関わり方を伝えることに努めた。
【指標2】保育者と専門職(心理士・作業療法士)と連携し、子どもの発達特性に応じた対応を行ったため、問題行動の軽減につながった。子ども施設運営課と連携し、専門性を活かした支援を行っている。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性
【指標1・2】相談件数が増加しているため、人員の確保を検討し相談体制を充実していく。発達支援委員会で判定を受けた児童に対し、区立保育園だけでなく公設民営保育園、私立保育園等にも個別支援計画(園生活支援シート)の作成を今後も確認していく。
 個別支援計画(園生活支援シート)は児童の発達特性に応じた関わり方につながる重要なものである。研修で作成方法の具体的手順を伝え、児童の発達特性に応じた支援の手法を保護者と確認することができた。今後も関係各課と連携し、支援を継続していくことで、児童の困り感を軽減していく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①来所相談後の丁寧なフォローにより、保護者の不安を軽減し、適切に関係機関との連携が図られている。 ②保育者と専門職の連携が、子どもの発達特性に応じた対応となっており、発達支援児の問題行動の軽減に繋がっている。 ③各保健センター等における早期発見や早期支援、また、こども支援センターげんきの来所相談や関係機関との連携など、支援体制が充実してきていることは評価できる。 ④今後も、個別支援計画を有効に活用し、様々な悩みや課題を抱える個々の発達特性に応じた関わりをスムーズに就学先につなげられるよう、支援を継続してもらいたい。
R4年度	
5	



施策【1-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

	事業名	活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
9	①発達支援児の早期発見・早期支援の取り組み【保健予防課】	3歳児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における3歳児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	125	125	125	125	125
					【5,000】	【4,870】	【4,730】	【4,600】	【4,460】
				実績値	114	101	136		
				達成率	91%	81%	109%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の流行下でも、3歳児健康診査を継続したため、実施回数・受診者数は増加した。3歳児健康診査は例年受診率も高く、発達に課題のある子どもを早期・確実に発見し、つないでいく重要な役割を果たしている。				
	A	現状維持							
10	②乳幼児経過観察健康診査・乳幼児療育指導【保健予防課】	乳幼児経過観察健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児経過観察健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	78	78	79	79	80
					【776】	【782】	【788】	【794】	【800】
				実績値	65	63	73		
				達成率	83%	81%	92%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の流行下でも、乳幼児経過観察健康診査を継続したため、実施回数及び受診者数は増加している。心身の発育・発達などに不安のある乳幼児の相談事業に、こども支援センターげんきの心理士派遣を行っている。また、未受診の方には、電話や手紙でフォローを行うなど、丁寧な対応を行っている。心理相談や療育相談の結果から、継続的に関わることで保護者の受け止めや理解を促し、適切な支援につないでいる。				
	A	現状維持							
11	③発達支援児の総合的な支援【支援管理課】	相談児童数(人)	こども支援センターげんきへの来所・電話相談、保健センターでの相談、就学前施設での相談(巡回指導、発達支援相談、4歳児対象の気づきのしくみの相談)で受理した児童の延べ人数	目標値	4,320	4,300	4,300	4,300	4,300
				実績値	4255	4273	4469		
				達成率	98%	99%	104%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】 (課長評価)	専門職を派遣している保健センターの子ども相談、就学前施設での相談、気づきのしくみでの個別相談により、保護者の子育て不安に対し具体的な助言ができ、来所相談につなげることができた。必要に応じて、保護者の同意のもと就学先との連携を図ることができた。				
	A	現状維持							
12	④従事職員のスキルアップ研修【支援管理課】	実施回数(回)	講座実施回数 《【 】内は延べ参加者数》	目標値	10	12	12	12	10
					【800】	【1,100】	【1,100】	【1,100】	【900】
				実績値	10	12	12		
				達成率	100%	100%	100%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】 (課長評価)	発達障がい児に対する理解と具体的な対応を学ぶ研修を実施した。感染症の緩和により、受講者が増加した。全講座終了したのは40名(区立8、区立こども園1、私立19、公設民営5、小規模2、認証2、企業型3)。講座が終了した参加者には、事例検討などのフォロー研修を行ったことで、発達支援児やその保護者に対する支援が具体化され、園での子どもの状況に応じた支援の充実につながった。				
	A	現状維持							

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【1-4】

1 施策の概要

担当課

青少年課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	1 家庭・地域と連携し、子どもの学びを支える
施策	1-4 子どもが社会と関わる力を育むための成長支援
施策の方向	家庭や地域と連携しながら、様々な学び、体験の場を広げ、子どもたちが自らの可能性を見つけ、伸ばしていけるよう支援します。

2 成果指標

指標1	指標名	アンケートで「新しいことを知ったり、チャレンジしたい」と思った子どもの割合							
	定義	体験教室に参加した子どもや来館した子どもへのアンケートで「今回の体験をとおして、これからも新しいことを知ったり、チャレンジしたいと思った」と回答した子どもの割合 [青少年課体験教室の参加割合とギャラクシティ体験活動の参加割合の平均]							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			90	90	90	90		R6 目標値
	実績値		-	88	82	87			90%
	達成率			98%	91%	97%	0%		
指標2	指標名	あだち放課後子ども教室利用者満足度							
	定義	参加児童に対するアンケート調査で、放課後子ども教室に参加することが「楽しい」「少し楽しい」と答えた児童の割合							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値			99	99	99	99		R6 目標値
	実績値		99	99	99	99			99%
	達成率			100%	100%	100%	0%		
指標3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	
	目標値								R6 目標値
	実績値		-						
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

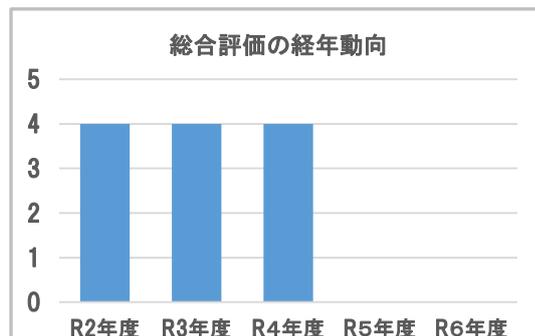
【指標1-青少年課体験教室】コロナ禍での密を避けるため、実施教室を分ける等、事業の実施方法を工夫し、各大学の特色を活かしたプログラムを実施したことが、達成率の向上に繋がったと考える(89%)。
【指標1-ギャラクシティ体験活動】前年の実績を上回った。今までに体験や学びの事業に参加した子どもたちのアンケートを検証し、ニーズを捉えた事業展開に注力したことが実績につながった(85%)。
【指標2】コロナ禍においても、引き続き満足度は高い結果となった。学年分けや遊び方の工夫により三密を回避しながら、全校開催し放課後の居場所を提供した成果である。子どもからは、体を動かして遊べた(58.4%)、家や学校でやったことのない遊びができた(52.9%)などの理由があがっている。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1-青少年課体験教室】地域社会のなかで、学校教育とは違った子どもたちの各ライフステージをつなぐ、生きる力を育む体験活動の機会を大学と協議しながら実施していく。
【指標1-ギャラクシティ体験活動】子どもたちが文化芸術に関心を持ち、自己肯定感を高められる事業の実施と、地域文化倶楽部やGがくえんなど小学生から高校生までのライフステージの変化に対応したギャラクシティでの学び、体験の場を提供していく。
【指標2】子どもの健やかな成長と学びのため、地域の方々の協力を得ながら放課後の安全・安心な居場所を提供していく。また、自己肯定感を高めるため、コロナ禍で減少した体験・交流活動の機会を増やすとともに、内容の充実を図る。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①子どもの体験活動は、コロナ禍であっても対策を講じて実施したことは評価できる。今後も、大学生と交流しながら、大学の専門性を活かした体験や文化芸術に触れるようなライフステージに合わせたプログラムを提供してもらいたい。 ②あだち放課後子ども教室は、学校・実行委員会との話し合い回数が前年度と比較して減少したものの、全校開催し、開催日数や体験プログラム実施校が増えた。今後は話し合い回数を増やし、実施内容を拡充させてほしい。 ③同年代の子どもたちや地域の方々と関わりながら色々な体験をすることは、子どもの学びの意欲を醸成し、社会と関わる力を身につける人材の育成につながる。引き続き、学びの場を提供してもらいたい。
R4年度	
4	



施策【1-4】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
13	①体験活動(大学連携事業)の推進【青少年課】	大学連携によるプログラムの提供回数(回)	青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供回数 《【 】内は参加した子どもの延べ人数》	目標値	26	27	27	29	33
					【15,000】	【15,000】	【15,000】	【15,000】	【15,200】
				実績値	11	23	29		
				達成率	42%	85%	107%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	コロナ禍で密を避けるため実施教室を分ける等の対策を講じて、可能な限り対面での事業を企画した。実績値は伸びており、今後も対面事業の際、本事業の特色である子ども達が普段接する機会のない大学生と交流しながら、各大学の特色を活かしたプログラムを実施していく。						
A	現状維持								
14	②ギャラクシティでの多様な体験活動の提供【地域文化課】	イベント・ワークショップ実施回数(回)	イベントや日々のワークショップ実施回数 (目標値)基本協定で締結しているワークショップの最低実施回数 《①【 】内は、上記のうち地元企業やボランティアとの協働による企画数》 《②【 】内は延べ総参加者数》	目標値	2,200	1,600	1,600	1,800	3,000
					①【320】	①【230】	①【230】	①【260】	①【360】
					②【150,000】	②【108,000】	②【108,000】	②【122,000】	②【160,000】
				実績値	734	1653	2809		
					①【31】	①【179】	①【219】		
					②【11,204】	②【48,235】	②【304,178】		
				達成率	33%	103%	176%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止はなく、多様な事業を実施することができたことから、総参加者は大幅に増加した。大ひょうげん、こどもおしごとらんど、ジャパンフェスタの開催とともに鉄道ミュージアムスペシャル等を通じて、様々な学びや体験の機会を子どもたちに提供した。						
A	現状維持								
15	③あだち放課後子ども教室【学校支援課】	学校・実行委員会との話し合いの回数(回)	実施内容の拡充(対象学年拡大・体験プログラム実施等)に向けた話し合いの回数	目標値	240	240	240	240	240
				実績値	151	265	221		
				達成率	63%	110%	92%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	コロナ禍で実行委員会が書面開催となったことにより、目標を若干下回ったが、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。実際に開催日数や体験プログラム実施校の増といった実施内容の拡充につながっている。						
A	現状維持								
16	④ジュニアリーダーの育成【青少年課】	子ども会のリーダーを育成する研修会の開催回数(回)	小学4年～6年生を対象としたジュニアリーダー研修会の開催回数 《【 】内は参加者数》	目標値	66	66	48	48	69
					【600】	【600】	【480】	【310】	【650】
				実績値	14	20	50		
					【203】	【64】	【303】		
				達成率	21%	30%	104%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	コロナ禍の状況を見ながら、研修会を16会場(令和3年度比+11会場)で実施したため、参加者数を増やすことができた。令和5年度も引き続き16会場で実施し、参加する小学生にとって、学校や家庭以外の居場所となるよう、また地域の大人や中・高・大学生とのコミュニケーションを持てる重要な場としていく。						
A	現状維持								

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策群 2

妊娠から出産・子育てまで
切れ目なく支える



施策【2-1】

1 施策の概要

担当課 子ども施設入園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-1 妊娠、出産、子育てへの切れ目のない支援の充実
施策の方向	・子育て支援を充実し、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、切れ目のない支援を行います。 ・子育てサービスを適切・円滑に利用できるよう、親子の居場所や交流の場などの情報提供や、悩みの相談環境の充実を図ります。

2 成果指標

指標1	指標名	子育ては楽しいと感じる割合						
	定義	各保健センター等での3～4か月児健康診査時に行うアンケートで、「子育ては楽しい」と答えた親の割合						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			75	75	75	75	
	実績値		71.6	74.6	73.5	75.5		
達成率			99%	98%	101%	0%		
指標2	指標名	保育コンシェルジュへの相談が役にたった方の割合						
	定義	保育コンシェルジュへ相談した方に対するアンケートで、相談が役にたったと答えた方の割合						
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値			97	97	97	97	
	実績値		—	98	100	100		
達成率			101%	103%	103%	0%		
指標3	指標名							
	定義							
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
	目標値							
	実績値		—					
達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】実績値はほぼ横ばいで推移しているが、令和3年度より微増となり、目標値を上回った。訪問や電話相談、乳幼児健診などの事業を通じて、不安やストレスを抱える母親へのきめ細やかな支援を強化している。

【指標2】オンラインサービス(個別相談や説明会)を充実させ、自宅からでも気軽に利用できるよう相談体制の整備に努めてきた。また、区役所窓口は予約不要で、時間制限を設けず一人ひとり丁寧に応じてきたことにより、利用者から高い評価を得られている。

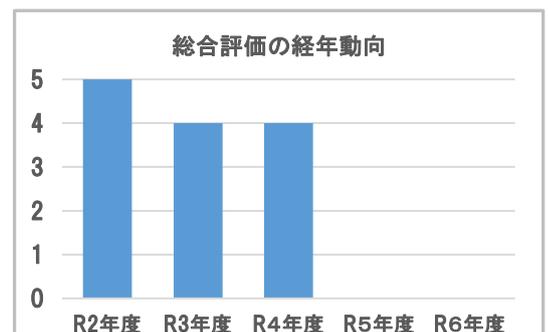
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】ハイリスク妊産婦への寄り添い支援を継続強化し、必要に応じ関係機関につなぐなど、早期対応を適切に行う。「宿泊型産後ケア」を拡充し、支援が必要な母親に対し、より手厚い支援を提供していく。「スマイルママ面接」、「あだち出産・子育て応援事業」、「ファーストバースデーサポート」で全妊産婦支援を実施する。

【指標2】スマホでできる保活として、区LINE公式アカウントを活用し、保育施設の情報を発信していく。また、オンライン説明会の参加をきっかけにして個別相談につなげるとともに保育サービス以外の相談は適切に関係機関につなぐことで、相談の質の向上を図っていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①新型コロナウイルス感染症の流行下でも、電話相談を併用し、訪問支援を継続した。また、乳幼児の健康診査を再開したため、乳幼児の発育・発達状況の確認や育児相談などにより、育児不安の軽減につながり、子育ての楽しさを感じる親が増えたことは、評価できる。 ②ファミリー学級の平日開催分が中止となった。今後は平日も開催し、育児相談などができるような、環境を充実をさせてほしい。 ③保育コンシェルジュは、オンラインの個別相談や説明会を充実させ、気軽に相談できる環境整備に努めていると同時に、子の発達に関する相談から関係機関へつなぐなど、きめ細やかな対応を行っていることは評価できる。今後は、より多くの方に利用してもらえるよう、効果的な情報発信を期待する。
R4年度	
4	



施策【2-1】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
①妊婦健康診査 【保健予防課】	妊婦健康診査受診回数 (回)	母子健康手帳交付時に配付する14回分の受診票の使用回数(里帰り等による助成の回数を含む)	目標値	61,120	61,290	61,460	61,630	61,800
			実績値	53,219	51,935	50,301		
			達成率	87%	85%	82%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	妊娠届出数の減少により、妊婦健康診査の減少傾向が続いている。しかし、平均受診回数は、12回と前年度の回数を維持している。妊娠届出時の妊婦全数面接や妊婦訪問時に保健師等が、妊娠中に必要な健診回数をきちんと受診することの大切さを伝えている。妊婦健康診査は、胎児の発育状態の確認や母体の異常を早期発見するために大変重要なものである。					
A	現状維持							
②ファミリー学級 【保健予防課】	ファミリー学級学級数 (数)	ファミリー学級の年間開催学級数 (平日、土曜日、日曜日) 《【 】内は参加者数(実人数)》	目標値	108	108	108	110	110
			実績値	56	44	76		
			達成率	52%	41%	70%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の影響により、各保健センター等の平日開催分は年度当初から中止とし、土曜日1日制と、日曜日1日制のみ実施した。パートナーが参加しやすく、赤ちゃんとの生活を一緒に体験し気持ちを共有できる1日制の人気は高い。引き続きニーズの把握に努め、周囲の理解やサポートにつなげていく。					
A	現状維持							
③妊産婦家庭訪問事業 【保健予防課】	妊娠後3か月までの支援対象者への訪問件数(件) ※必要支援者対象	妊娠届で把握した特に支援が必要な妊産婦に訪問を実施した件数 《【 】内は対象訪問件数(特に支援が必要な妊産婦×訪問4回)》	目標値	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800
			実績値	1,658	1,513	1,625		
			達成率	92%	84%	90%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	妊娠届及びアンケートの内容から支援が必要な妊産婦を把握し、保健師や助産師が訪問や面接・電話などできめ細やかに妊産婦への指導や相談・助言を行っている。令和4年度の特に支援が必要な妊産婦は408人で、4回の訪問を行った。ハイリスク妊産婦の支援を強化しつつ、妊婦全数面接等により全妊産婦の状況を把握し、育児不安等を軽減できるよう支援していく。					
A	現状維持							
④こんには赤ちゃん訪問事業 【保健予防課】	こんには赤ちゃん訪問事業訪問件数(件) ※全家庭対象	当該年度に出生した訪問希望者に対するこんには赤ちゃん訪問で保健師・助産師が訪問指導した件数 《【 】内は希望件数》	目標値	4,260	4,130	4,080	4,000	3,900
			実績値	3,558	3,626	3,562		
			達成率	84%	88%	87%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の流行下でも、訪問希望者に対する訪問率は例年高い割合を維持している。訪問を希望されない方には、電話による相談を実施しフォローした。乳児の発育状況と生活状況の把握に加え、コミュニケーションツールとしてエジンバラ産後うつ病質問票(EPDS)を活用し、産後うつ等になりやすい時期に相談にのることで母親の育児不安解消と虐待の未然防止に努めた。					
A	現状維持							
⑤乳幼児健康診査 【保健予防課】	乳幼児健康診査実施回数(回)	各保健センター等における乳幼児健康診査の実施回数 《【 】内は受診者数》	目標値	410	410	410	410	410
			実績値	312	328	423		
			達成率	76%	80%	103%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	新型コロナウイルス感染症の流行下でも、各保健センターでは、乳幼児の健康診査を再開したため、実施回数・受診者数は増加した。それぞれの健康診査は例年受診率も高く、乳幼児の発育・発達状況確認、疾病や異常の早期発見のほか、母親の育児不安の軽減など、総合的な健診の場として重要な役割を果たした。					
A	現状維持							
⑥産前・産後家事支援事業 【子ども家庭支援課】	年間延べ訪問件数(件)	産前・産後家事支援事業の年間延べ訪問件数	目標値	450	520	1,000	1,300	1,300
			実績値	520	1,084	1,308		
			達成率	116%	208%	131%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	需要増により、前年度対比で訪問件数が増加している。委託介護事業者との需給バランスの均衡を図っていく必要があるため、引き続き事業者と協議して進めていく。					
A	現状維持							
⑦子育てサロン 【住区推進課】	イベント回数(回)	年間イベント(絵本読み聞かせ・親子ふれあい遊び・ベビーマッサージ等)実施回数 《【 】内、①は参加者総数、②は①の内、男性参加者数》	目標値	2,620	2,640	2,660	2,680	2,700
			実績値	1,132	2,122	4,559		
			達成率	43%	80%	171%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	利用者数が増えてきており、特に0~1歳児親子の利用が多くなっている。そのため、0歳児対象のイベントを増やした。「あかちゃんず」の助産師や整体師の講座も盛況で、参加者数も大幅に伸びたが、目標値には至らなかった。実施回数は目標値を上回っているため、今後は各回の参加者数を伸ばしていく必要がある。					
A	現状維持							
⑧保育コンシェルジュ 【子ども施設入園課】	保育コンシェルジュ相談延べ人数(人)	保育コンシェルジュ相談延べ人数 《【 】は保育サービス以外の相談件数、令和3年2月から開始》	目標値	3,150	2,600	3,000	3,850	3,991
			実績値	2,343	2,793	3,750		
			達成率	74%	107%	125%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	オンライン説明会を年31回開催し、参加者数は644人と好評であった。区役所窓口や子育てサロンの相談者数は堅調に増加しており、事業全体の延べ利用者数は3,750人(前年度比957人増)と平成27年度の事業開始以来、最多人数となった。また、保育サービス以外の相談も増えており、きめ細やかな相談が実施できている。					
A	現状維持							

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-2】

1 施策の概要

担当課

私立保育園課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-2 子育てと仕事の両立支援
施策の方向	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働き方を背景とした保護者の保育ニーズに応じた教育・保育サービスを確保します。 多様な働き方を可能とするため、パートナーの積極的な家事・育児参加の意識を醸成します。

2 成果指標

指標 1	指標名	保育需要に対する待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷保育需要数(各保育施設等の利用児童数+待機児童数) ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	0	0	0		目標値
	実績値		0.89	0	0.01	0			0%
	達成率			100%	99%	100%			
指標 2	指標名	学童保育室の待機児童率【低減目標】							
	定義	待機児童数÷入室申請者数 ※4月1日現在							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			0	5.8	3	3		目標値
	実績値		5.1	6.1	3.7	4.4			0%
	達成率			0%	157%	68%			
指標 3	指標名	「男女が対等な立場で意思表示や活動をするのができ、また責任を分かち合っている」と感じている区民の割合							
	定義	「足立区政に関する世論調査」							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			40	40	40	40		目標値
	実績値		31	31	34	30			50%
	達成率			78%	85%	75%			

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

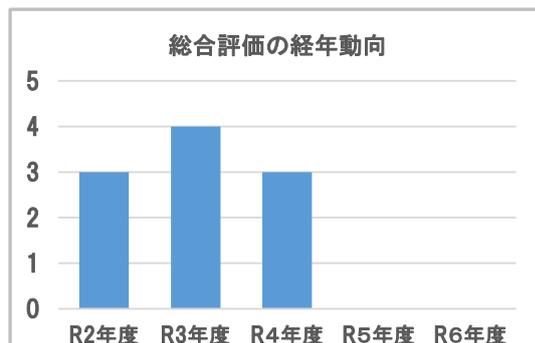
【指標1】必要な保育定員数を確保し、待機児童が0名となり目標を達成した。
【指標2】民設学童保育室の誘致などにより受入可能数は増加したが、申請数が大きく増加したために、待機児童率が増加してしまった。これは令和3年度の申請時期(令和2年11月頃)には新型コロナウイルスの特性が明らかになっておらず、感染に対する不安から申請数が減少したものが、病気の特性が一定程度明らかになり、生活様式や働き方が変化し始めたことで再び増加したことが考えられる。
【指標3】世論調査では、30%台を横ばいで推移している。令和4年度は4ポイント減少し、目標値には届いていない。社会における男女の意識の差は依然として埋まっていないと考えられる。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】地域ごとの保育ニーズを詳細に分析し、人口推計、妊娠届出時の意向調査結果等を踏まえ、「待機児童解消アクション・プラン」の改定を行い、保育需要数を見直していく。また、築年数の経過した施設では、保育定員の見直しを含めた施設更新により保育環境を向上させながら、必要な保育定員を確保・維持していく。
【指標2】「学童保育室整備計画」に基づき、待機児童が多く見込まれる地区に学童保育室を整備する。学童保育の需要が高い小学校1、2年生の待機児童解消を重点的に目指していく。また、待機児童に対する居場所の提供として、児童館特例利用の活用も促していく。
【指標3】子どもの成長や家庭の状況に応じた、男性の家事・育児参加を支援する講座等を引き続き実施していく。その中で男女が責任を分かち合う意識付けを行っていく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	3	①保育需要に対する待機児童率は目標を達成している。引き続き必要な保育定員を確保・維持してもらいたい。
R4年度		②学童保育室は受入可能数を増やしたものの、それを上回る申請数となり、引き続き待機児童が発生している。地区ごとの需要を正確に分析し、整備計画を見直し、定員確保に努め、子育てと仕事ができるような環境整備に取り組んでもらいたい。
		③世論調査では以前として、男女の役割分担に満足していない区民の意識が表れている。今後はWLB事業の見直しを行うとともに、啓発活動を増やし、男性の育児参加への理解を深めるための積極的な取り組みに期待する。



施策【2-2】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
25	①保育施設等の整備 【私立保育園課】	保育施設整備数(累計件)	令和2年～6年度における、認可保育所、認証保育所、小規模保育の新規整備及び定員見直しを伴う改修等の実施件数 ※「足立区待機児童解消アクション・プラン(令和元年8月改定版)」に基づく整備予定件数	目標値	0	3	3	5	5
				実績値	1	4	4		
				達成率	0%	133%	133%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	令和2年度から令和4年度末までに3園の老朽化施設の建て替えを実施した。また、令和5年度末までに1園の建て替えを実施する。今後も、定員見直しを伴う改修や老朽化等による建て替えを実施していく。事業実施にあたっては、工期等のスケジュール管理を徹底し、必要な整備を事業者と協議しながら進んでいく。					
A	現状維持								
26	②保育士確保・定着対策 【私立保育園課】	就職相談会の実施回数(回)	就職相談会等の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	4	2	2	4	8
					【110】	【100】	【100】	【100】	【310】
				実績値	1	2	1		
		【51】	【63】	【23】					
達成率	25%	100%	50%	0%	0%				
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	保育士確保・定着は、安定した保育所運営には、欠かすことのできない施策である。確保から定着重視へシフトしながら、引き続き保育士確保定着に努めていく。令和4年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止により、保育士養成校との就職相談会が中止となっていた。令和5年度から養成校との就職相談会を復活させていく。						
A	改善・変更								
27	③学童保育室の運営 【住区推進課】	学童保育室受入可能数累計(人)	区直営、運営委託(指定管理、住区センター)、民設運営(学童クラブ補助対象分)の受入可能数累計 ※令和3年度より受入可能数増分から累計へ変更	目標値	90	210	340	390	430
				実績値	120	242	392		
				達成率	133%	115%	115%	0%	0%
	施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	「足立区学童保育室整備計画」に基づき、令和4年度に民設学童保育室1室及びを新たに開設し、150人の受入可能数増となり、累計で392人の増となった。今後も引き続き「整備計画」に基づき、最新の申請状況等の実績を踏まえたうえで、待機児童が多い地区へ学童保育室の整備を進めていく。					
A	現状維持								
28	④ワーク・ライフ・バランスの推進 【多様性社会推進課】	WLBを推進するため区内企業へ働きかけた件数(件)	架電・DM・訪問など働きかけた件数※10人以上、300人未満の区内企業数=1,600社 ※令和2年度目標値450は働きかけをして興味を示す見込数	目標値	450	2,000	2,000	-	2,000
				実績値	1,889	1,864	1,877		
				達成率	420%	93%	94%		0%
	男性向け講座・イベントの実施回数(回)	男性向け講座・イベントの実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	10	10	10	10	11	
				【250】	【250】	【300】	【300】	【500】	
			実績値	3	8	4			
	【30】	【79】	【52】						
達成率	30%	80%	40%	0%	0%				
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】 (課長評価)	令和5年度は、WLBの事業見直しを実施するため、認定企業の新規募集は行わない。男性の子育て応援講座は実施したが、講座アンケート等によるニーズ把握では、講座テーマの要望が多岐に渡り、多彩なテーマで実施したため、4回にとどまった。引き続き機会の場の提供と支援を行い、男性の積極的な家事・育児参加を促していく。						
A	改善・変更								

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-3】

1 施策の概要

担当課 **こども家庭支援課**

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-3 困難を抱える子育て家庭への支援と虐待の防止
施策の方向	・児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応等を図るため、地域におけるきめ細やかな体制の充実を進めます。 ・困難を抱える子育て家庭の悩みや相談に応じ、経済的支援をはじめ、親と子どもに寄り添った様々な支援を行います。

2 成果指標

指標 1	指標名	児童虐待解決率							
	定義	虐待解決数(児童相談所への送致や訪問指導により虐待を起こす要因が解消された数)÷虐待件数							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			80	80	80	80		目標値
	実績値		73	66	65	72			80%
	達成率			83%	81%	90%	0%		
指標 2	指標名	高等職業訓練促進給付金受給後の正規雇用者数							
	定義	ひとり親家庭を対象とする高等職業訓練促進給付金事業を活用後、就労(正規雇用)した方の数							
	単位	人	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			15	17	10	8		目標値
	実績値		14	15	5	8			25人
	達成率			100%	29%	80%	0%		
指標 3	指標名								
	定義								
	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値								目標値
	実績値		-						
	達成率								

3 担当課における施策評価

【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
・ライフステージ間のつなぎの強化

施策の達成状況とその要因分析

【指標1】児童虐待解決率は前年度比で増加している。継続して支援を必要とする家庭が前年度比で増加傾向にあり、前年度に続き、さらに案件が複雑化かつ多様化しており、虐待解決に至るまで時間を要することが多くなっている状況のなか、区の児童虐待に係る対応力が向上してきている。
【指標2】高等職業訓練促進給付金受給者26人のうち、12人が養成校を卒業し資格試験を受験、7人が合格後、正規雇用となった。目標には達しなかったものの、不合格により資格取得できなかった5名のうち看護師を目指していた1名は看護助手として正規雇用、4名はパートや非常勤での就労となり目標値に達しなかった。

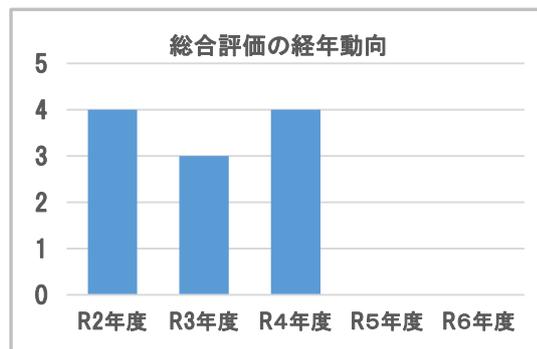
子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性

【指標1】各事案の複雑化かつ多様化に対応するため、関係機関と連携し家庭を保護者ごと支え、子どもが家庭で安心・安全に暮らせるように、児童虐待の予防、早期発見、再発防止に向けた取組を引き続き継続していく。

【指標2】資格取得できなかった方は、次年度以降再受験し、正規雇用を目指す。今後、厚生労働省や東京都で力を入れている在宅就業推進事業など支援情報の集約・周知も強化していく。

4 子ども家庭部における施策の総合評価

総合評価	①各事案が複雑かつ多様化し、継続的支援が必要な家庭が増加しているが、区の児童虐待に対する対応力が向上したことで、解決率が上がった。目標には達しなかったものの、一定程度評価できる。公的機関との接触の少ない家庭への子育て訪問は、児童虐待の発生防止や早期発見、早期対応につながる。今後も、虐待防止や解決に向けた取り組みで、困難を抱える家庭への支援を行ってほしい。 ②ひとり親向け就労支援事業の活用人数も給付金を活用し、正規雇用となった人数も前年度と比較して増えたことは評価できる。正規雇用でなくてもパートや非常勤という勤務形態で就労へとつながっている。今後も、働き方やニーズに合った資格取得等を後押しし、就労につながる積極的な周知や支援を期待する。
R4年度	
4	



施策【2-3】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名	活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6
29 ①きかせて子育て訪問事業 【こども家庭支援課】	支援回数(回)	きかせてサポーターが利用者宅で支援を行った年間延べ支援回数 《【 】内は利用者数》	目標値	102	120	300	210	102
				【30】	【30】	【150】	【94】	【30】
			実績値	145	283	206		
			達成率	142%	236%	69%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	令和3年度に続き、利用者の希望により傾聴支援を行う訪問支援に加え、公的機関との接触の少ない家庭に対してアプローチをしていく目的で、該当家庭への戸別訪問を実施している。コロナ禍の影響により、令和2年度に実施ができなかった戸別訪問分を、令和3年度に合わせて実施していたこともあり、令和4年度は昨年度比で減少している。今後の事業の在り方については、引き続き事業者と協議を行っていく。				
A	現状維持		(課長評価)					
30 ②メール配信事業 「新米ママパパの子育てブログ」 【こども家庭支援課】	配信記事数(本)	メール配信する配信記事(ブログ調記事)の種類(数) 《【 】内は登録者数》	目標値	90	90	90	90	90
				【12,000】	【13,000】	【14,000】	【15,000】	【15,000】
			実績値	94	94	94		
			達成率	104%	104%	104%	0	0
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	多様化する子育て世代に対応するため、配信内容を適宜確認しながら、定期配信を行っている。引き続き、増加しているブログ登録者へアンケートを実施し、それらを踏まえ内容の充実を図っていく。				
A	現状維持		(課長評価)					
31 ③児童扶養手当 【親子支援課】	児童扶養手当認定件数(件)	児童扶養手当認定請求に対する認定件数	目標値	854	845	836	827	820
			実績値	872	750	677		
			達成率	102%	89%	81%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	足立区における0～18歳の人口減少に伴い、児童扶養手当の認定件数も減少している。令和4年度においては、対前年度比で73件の減と目標値を下回る実績となったが、減少幅は小さくなった。				
A	現状維持		(課長評価)					
32 ④ひとり親家庭応援メールの配信 【親子支援課】	メール配信の情報件数(件)	豆の木メールで配信した情報の件数 《【 】内は登録世帯数》	目標値	220	240	240	250	300
				【2,800】	【3,200】	【3,500】	【3,500】	【3,500】
			実績値	225	207	212		
			達成率	102%	86%	88%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、親子向けのイベントや就労に関する講座などの情報が少ないなか、厚生労働省や東京都の就労に関する情報も収集し、発信したほか、各種給付金のお知らせなど、社会情勢に応じた情報を発信し貢献度は高かった。				
A	現状維持		(課長評価)					
33 ⑤就労のための資格取得支援 【親子支援課】	ひとり親家庭向け就労支援事業を活用した人数(人)	ひとり親家庭を対象にした就労支援給付金補助をはじめ、就労セミナー・講座等区が行う就労支援事業を活用した延べ人数	目標値	200	225	160	190	200
			実績値	150	152	194		
			達成率	75%	68%	121%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、セミナー・講座等が延期になったが中止を避けられたため、目標を達成した。全体的にセミナー等の参加者が増え、人気のあるPC講座の応募者が募集人数を上回るなど、貢献度は高かった。				
A	現状維持		(課長評価)					
34 ⑥(区民向け)児童虐待予防講座の実施 【こども家庭支援課】	講座の開催回数(回)	児童虐待防止啓発事業(子育て交流講座(NP講座)、イライラしない子育て講座、講演会、オレンジリボンキャンペーン等)の実施回数 《【 】内は参加者数》	目標値	12	12	12	12	13
				【120】	【120】	【120】	【100】	【164】
			実績値	7	7	11		
			達成率	58%	58%	92%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	児童虐待予防講座は新型コロナウイルス感染症による影響はなく、予定通り実施することができた。オレンジリボンキャンペーンはコロナ禍により駅頭でのキャンペーンは中止とした。それに代わり、区内高校、大学、各小中学校PTA会長、民生児童委員等の皆様に啓発グッズのマスク配布に協力いただくなど、工夫しながら啓発に努めた。				
A	現状維持		(課長評価)					
35 ⑦児童虐待対応 【こども家庭支援課】	児童虐待受理件数(件)	こども家庭支援課における児童虐待に関する受理件数	目標値	900	1,100	1,100	1,181	1,345
			実績値	1,053	1,028	1,464		
			達成率	117%	93%	133%	0%	0%
施策への貢献度	今後の方針		【総合評価】	親になりきれない不安や孤立からのストレスなど、親の悩みをはじめとした様々な背景により、通告が年々増加しているため、児童虐待受理件数も増加している。また面談DV(心理的虐待)の件数が全国的に増加傾向にあり、足立区においても体感的に増加していると思われる。				
A	現状維持		(課長評価)					

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

施策【2-4】

1 施策の概要

担当課 ユニバーサルデザイン担当課

柱立て	自己肯定感を持ち、生き抜く力を備えた人
施策群	2 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく支える
施策	2-4 安全・安心に子育てのできる生活環境の整備
施策の方向	妊産婦、子育て家庭等、全ての人たちが安全安心に外出できるよう、ユニバーサルデザインの視点に立ったまちづくりを推進していきます。

2 成果指標

指標1	指標名	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点の平均値※1【子ども子育てに関する事業】							
	定義	推進計画、「柱3 便利に生活できる『まちづくり』」のうち、施策3-(1)から3-(4)に位置付けられた一部の事業のうち、「だれもが利用しやすい施設や環境等を整備する」ための個別事業の5段階評価の評価点の平均値							
	単位	点	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			4.0	4.0	4.1	4.1		目標値
	実績値		4.1	3.88	4.22	4.44			4.2点
達成率			97%	106%	108%	0%			

※1【子ども子育てに関する事業】
 3-(1)-①安全な道路環境の整備
 3-(1)-②歩行者空間の確保
 3-(2)-①公共建築物のユニバーサルデザインの推進
 3-(2)-②区立小・中学校のユニバーサルデザインの推進
 3-(2)-③区立保育園・こども園のユニバーサルデザインの推進
 3-(3)-①区立公園等のユニバーサルデザインの推進
 3-(3)-②公共自転車駐車場等のユニバーサルデザインの推進
 3-(4)-①国や都等が整備する公共施設等のユニバーサルデザインの誘導
 3-(4)-②民間建築物のユニバーサルデザインの誘導

指標2	指標名	よく行く、または行きたい公園がある区民の割合							
	定義	世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18~40歳代)の割合(そう思う、どちらかといえばそう思うの合計) (算出式) A÷B A:世論調査で「よく行く、または行きたい公園がある」と答えた区民(18~40歳代)の数 B:世論調査に回答した区民(18~40歳代)の数 ※令和3年度より調査対象が20~40歳代から18~40歳代へ変更 ※令和4年度から令和6年度目標値を50%から52%へ変更							
	単位	%	H30	R2	R3	R4	R5	R6	R6
	目標値			50	50	50	51.1		目標値
	実績値		44.3	49.8	50.3	50.7			52%
達成率			100%	101%	101%	0%			

3 担当課における施策評価

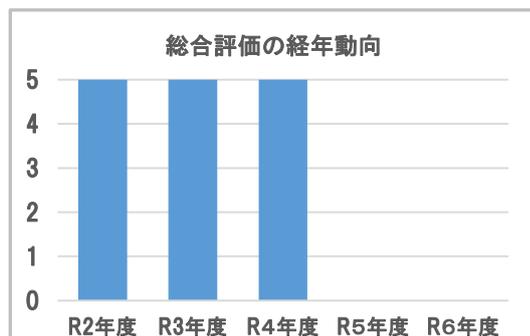
【2つの横断的な視点】・子育て支援の質の向上
 ・ライフステージ間のつながりの強化

施策の達成状況とその要因分析
 【指標1】ユニバーサルデザイン推進計画の施策については、コロナ禍においても、関係課と協力して各施設や生活環境等の着実な整備が進められており、それが評価に反映されたと考える。
 【指標2】令和4年度に行った公園における利用状況調査結果では、「よい公園になったと思う」が92.1%、「これからもこの公園を利用したい」が100%という結果を得ており、指標の実績に表れている。

子・子計画上の2つの視点を踏まえた今後の方向性
 【指標1】子育て家庭も安心して利用できるよう、ユニバーサルデザインの視点を持ちながら、区民の生活や生命を守る重要な公共施設の整備を進めていく。また、「心づかい」の理念を啓発し、量だけでなく質の向上を目指して施策を進めていく。
 【指標2】公園整備前の意向調査において、区HP、QRコードの活用に加え、現地調査や保育所へのヒアリングを取り入れるなど、より多くの意見を反映した公園整備を進めていく。

4 子ども家庭部における施策の評価

2次評価	①ユニバーサルデザインの視点に立ち、パークイノベーション推進計画に沿った特色ある公園づくりを行っていることが区民の満足度に現れており、評価できる。 ②公園遊具の日常点検や修繕が滞りなく行われていることも区民の満足度につながっている。 ③今後も、子育て家庭を含め、全ての人たちが安全・安心して利用できるよう、利用者や地域の方の声に丁寧に耳を傾け、安心して健やかに暮らすことができる環境整備に期待する。
R3年度	
5	



施策【2-4】

施策を構成する主な事務事業の進捗状況

事業名		活動指標 (単位)	定義		R2	R3	R4	R5	R6	
36	①ユニバーサルデザイン(バリアフリー)の推進【都市建設課】	ユニバーサルデザイン推進計画の個別事業の評価点(点)	推進計画、「柱4 みんなに役立つ『しくみづくり』」のうち、「4-(1)-①ユニバーサルデザイン推進計画の適切な進捗管理」に関する評価点	目標値	4.0	4.0	4.0	4.0	4.5	
				実績値	4.0	5.0	4.0			
				達成率	100%	125%	100%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	各種施策が充実し、工夫を凝らしながら事業を実施している一方で、今日の課題に応じたアップデートが必要となっている。引き続き関係所管と協力し、それぞれの事業について、適切な効果測定、反映のあり方を検討し、スパイラルアップを実現していく。	A	現状維持					
37	②公園等遊具の安全対策【東西道路公園維持課】	全遊具の日常点検遊具数(基)	月1回遊具点検表に基づき点検し、修繕の要・不要・経過観察の判定がなされる遊具数(点検の際に簡単なメンテナンスにより安全使用が可能となる) ※令和4年度からカウントの仕方を変更	目標値	2,108	2,106	2,415	2,460	2,115	
				実績値	2,108	2,106	2,415			
				達成率	100%	100%	100%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	公園維持管理作業委託による施設点検と専門業者による遊具点検で、安全性を損なうE判定が1箇所あったが、早急に対応し事故を未然に防ぐことができた。引き続き安全な遊具の維持管理に努めていく。	A	現状維持					
38	③パークイノベーションの取り組みの推進【パークイノベーション担当課】	改修・新設した公園数(か所)	足立区パークイノベーション推進計画に基づき、改修・新設した公園数	目標値	49	59	69	79	89	
				実績値	51	55	60			
				達成率	104%	93%	87%	0%	0%	
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	児童がのびのび遊べる公園や様々な遊具を設置した公園など、それぞれの公園にテーマを設け、公園整備を行った。一部、改修時期の見直しを行った結果、目標達成には至らなかった。	A	現状維持					
39	④あだち子育てガイドブックの普及【子ども政策課】	あだち子育てガイドブックの配布場所数(か所)	あだち子育てガイドブックを配布する場所(子育てに関連する機関や施設の窓口等)の箇所数 《【 】内は配布冊数》	目標値	53	58	70	72	73	
					[22,600]	[23,700]	[25,300]	[25,300]	[30,000]	
				実績値	53	69	74			
			[22,600]	[22,700]	[21,700]					
		達成率	100%	119%	106%	0%	0%			
		区ホームページのあだち子育てガイドブックアクセス数(回)	区ホームページのあだち子育てガイドブックへのアクセス数	目標値	3,700	3,800	3,900	4,000	4,000	
実績値	3,713			3,953	3,977					
達成率	100%			104%	102%	0%	0%			
施策への貢献度	今後の方針	【総合評価】(課長評価)	毎年作成し、妊娠・出産・子育てに関する最新情報を区民に周知している。誰もが見やすい紙面づくりを心がけ、動画や詳細はQRコードから案内している。令和4年度版から電子ブック版について掲載し、多言語対応や読み上げ機能の活用をPRしている。配布場所は引き続き民間企業等にも協力を依頼していく。	A	現状維持					

施策への貢献度 A:高い B:中位 C:低い

子ども・子育て支援法に定める
「確保方策」の進捗状況について

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

教育・保育
【教育】

単位：人

		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
		1号	2号								
計画	量の見込み	5,542	2,005	5,408	1,963	5,265	1,908	5,121	1,859	4,979	1,807
	確保方策	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955	8,871	1,955
実績	確保方策	8,871	2,207	9,077	1,681	8,482	1,636	0	0	0	0
	【参考】利用実績	5,713	2,176	5,805	1,611	5,038	1,602	0	0	0	0
達成率		100%	113%	102%	86%	96%	84%	0%	0%	0%	0%

【保育】

単位：人

		R2年度			R3年度			R4年度			R5年度			R6年度			
		2号 保育	3号 1.2歳	3号 0歳													
千住地域	計画	量の見込み	1,185	826	129	1,156	791	127	1,102	768	126	1,060	762	125	1,029	755	124
		確保方策	1,255	842	233	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239	1,255	855	239
	実績	確保方策	1,255	859	220	1,255	838	227	1,249	838	225	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	994	688	148	961	654	136	915	657	127	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	102%	94%	100%	98%	95%	100%	98%	94%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	1,514	1,097	242	1,479	1,071	234	1,445	1,040	232	1,413	1,019	225	1,375	1,003	220
		確保方策	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310	1,804	1,162	310
	実績	確保方策	1,794	1,159	309	1,780	1,160	302	1,783	1,154	302	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,428	1,088	210	1,423	1,046	226	1,484	1,031	217	0	0	0	0	0	0
		達成率	99%	100%	100%	99%	100%	97%	99%	99%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,354	962	209	1,324	938	204	1,294	911	199	1,260	891	197	1,228	876	194
		確保方策	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301	1,645	1,102	301
	実績	確保方策	1,640	1,106	287	1,640	1,091	285	1,640	1,083	285	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,421	1,012	228	1,398	973	199	1,389	1,001	202	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	100%	99%	95%	100%	98%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,758	1,285	273	1,713	1,249	264	1,673	1,211	259	1,628	1,179	254	1,581	1,158	250
		確保方策	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352	2,137	1,487	352
	実績	確保方策	2,128	1,448	325	2,098	1,426	340	2,098	1,419	340	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,793	1,287	214	1,868	1,285	256	1,876	1,281	237	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	97%	92%	98%	96%	97%	98%	95%	97%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,568	1,131	205	1,541	1,101	198	1,498	1,066	196	1,457	1,042	190	1,413	1,024	188
		確保方策	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287	1,947	1,247	287
	実績	確保方策	1,944	1,269	282	1,946	1,249	282	1,943	1,236	281	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	1,573	1,121	229	1,630	1,164	213	1,651	1,140	219	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	102%	98%	100%	100%	98%	100%	99%	98%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	247	203	29	231	199	28	224	196	28	219	192	28	214	190	27
		確保方策	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57	307	216	57
	実績	確保方策	304	206	44	274	192	44	273	187	37	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	254	184	33	229	187	26	217	172	25	0	0	0	0	0	0
		達成率	99%	95%	77%	89%	89%	77%	89%	87%	65%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	7,626	5,504	1,087	7,445	5,349	1,055	7,236	5,192	1,040	7,037	5,084	1,019	6,839	5,005	1,003
		確保方策	9,095	6,056	1,540	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546	9,095	6,069	1,546
	実績	確保方策	9,065	6,047	1,467	8,993	5,956	1,480	8,986	5,917	1,470	0	0	0	0	0	0
		【参考】利用実績	7,463	5,380	1,062	7,509	5,309	1,056	7,532	5,282	1,027	0	0	0	0	0	0
		達成率	100%	100%	95%	99%	98%	96%	99%	97%	95%	0%	0%	0%	0%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

地域子ども・子育て支援事業

【放課後児童健全育成事業(学童保育室)】

単位:人

			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
千住地域	計画	量の見込み	889	912	930	928	913
		確保方策	889	912	930	928	913
	実績	確保方策	889	912	930	0	0
		【参考】利用実績	681	782	787	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	748	746	740	730	714
		確保方策	909	939	989	989	989
	実績	確保方策	909	939	989	0	0
		【参考】利用実績	1,120	1,287	1,320	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
		確保方策	1,081	1,080	1,064	1,054	1,034
	実績	確保方策	1,081	1,080	1,064	0	0
		【参考】利用実績	976	1,060	1,088	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
		確保方策	1,708	1,681	1,633	1,590	1,552
	実績	確保方策	1,708	1,681	1,633	0	0
		【参考】利用実績	1,624	1,803	1,810	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	1,150	1,139	1,120	1,107	1,092
		確保方策	1,150	1,139	1,120	1,146	1,176
	実績	確保方策	1,150	1,139	1,172	0	0
		【参考】利用実績	1,244	1,355	1,401	0	0
		達成率	100%	100%	105%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	263	235	211	190	176
		確保方策	346	346	346	346	346
	実績	確保方策	346	346	346	0	0
		【参考】利用実績	292	262	259	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	5,839	5,793	5,698	5,599	5,481
		確保方策	6,083	6,097	6,082	6,053	6,010
	実績	確保方策	6,083	6,097	6,134	0	0
		【参考】利用実績	5,937	6,549	6,665	0	0
		達成率	100%	100%	101%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【子育てサロン事業】

単位:人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
千住地域	計画	量の見込み	62,939	60,990	59,612	59,040	58,570
		確保方策	64,834	64,834	64,834	64,834	64,834
	実績	確保方策	64,834	64,834	64,834	0	0
		【参考】利用実績	24,472	22,826	45,068	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
綾瀬・佐野地域	計画	量の見込み	55,042	53,492	52,364	51,175	50,257
		確保方策	61,234	61,234	61,234	61,234	61,234
	実績	確保方策	61,234	61,234	61,234	0	0
		【参考】利用実績	17,636	17,108	36,279	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
梅田・中央本町地域	計画	量の見込み	46,141	44,909	43,756	42,873	42,201
		確保方策	76,700	76,700	76,700	76,700	76,700
	実績	確保方策	76,700	76,700	76,700	0	0
		【参考】利用実績	11,767	12,370	26,178	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
竹の塚・六町地域	計画	量の見込み	66,683	64,640	62,919	61,430	60,372
		確保方策	164,128	164,128	164,128	164,128	164,128
	実績	確保方策	164,128	164,128	164,128	0	0
		【参考】利用実績	38,441	44,282	101,318	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
江北・鹿浜・舎人地域	計画	量の見込み	41,412	40,114	39,179	38,206	37,596
		確保方策	73,367	73,367	73,367	79,749	79,749
	実績	確保方策	73,367	73,367	73,367	0	0
		【参考】利用実績	10,862	12,639	30,301	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
新田地域	計画	量の見込み	13,546	13,243	13,032	12,851	12,762
		確保方策	28,794	28,794	28,794	28,794	28,794
	実績	確保方策	28,794	28,794	28,794	0	0
		【参考】利用実績	5,909	6,293	9,859	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%
区全域	計画	量の見込み	285,763	277,388	270,862	265,575	261,758
		確保方策	469,057	469,057	469,057	475,439	475,439
	実績	確保方策	469,057	469,057	469,057	0	0
		【参考】利用実績	109,087	115,518	249,003	0	0
		達成率	100%	100%	100%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【平日の定期的な延長保育事業】

単位：人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	千住地域(21時まで)	485	472	455	444	436
	綾瀬・佐野地域(21時まで)	616	601	589	576	562
	梅田・中央本町地域(21時まで)	617	602	587	574	561
	竹の塚・六町地域(21時まで)	557	543	529	516	504
	江北・鹿浜・舎人地域(21時まで)	489	476	463	453	442
	新田地域(21時まで)	117	110	109	107	104
	21時以降区全域	386	374	365	355	346
	量の見込み【区全域】	3,267	3,178	3,097	3,025	2,955
	千住地域	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,802	2,802	2,802	2,802
	梅田・中央本町地域	2,552	2,552	2,552	2,552	2,552
	竹の塚・六町地域	2,916	2,916	2,916	2,916	2,916
	江北・鹿浜・舎人地域	2,890	2,890	2,890	2,890	2,890
	新田地域	449	449	449	449	449
	確保方策【区全域】	13,682	13,682	13,682	13,682	13,682
実績	千住地域	2,073	2,028	1,999	0	0
	綾瀬・佐野地域	2,802	2,778	2,762	0	0
	梅田・中央本町地域	2,552	2,542	2,445	0	0
	竹の塚・六町地域	2,931	2,848	2,819	0	0
	江北・鹿浜・舎人地域	2,886	2,854	2,870	0	0
	新田地域	449	439	395	0	0
	確保方策【区全域】	13,693	13,489	13,290	0	0
	千住地域	400	508	543	0	0
	綾瀬・佐野地域	640	704	803	0	0
	梅田・中央本町地域	590	630	687	0	0
	竹の塚・六町地域	819	787	941	0	0
	江北・鹿浜・舎人地域	693	770	737	0	0
	新田地域	164	162	170	0	0
【参考】利用実績【区全域】	3,306	3,561	3,881	0	0	
達成率	100%	99%	97%	0%	0%	

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【【幼稚園在園児】一時預かり等の利用】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	381,536	372,694	362,878	353,066	343,071
	確保方策	491,953	491,953	491,953	491,953	491,953
実績	確保方策	456,895	361,853	344,504	0	0
	【参考】利用実績	352,811	300,221	255,113	0	0
達成率		93%	74%	70%	0%	0%

【【幼稚園在園児を除く】不定期の一時預かり等の利用】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	29,841	28,956	28,269	27,619	27,156
	確保方策	53,142	50,421	47,438	44,679	42,730
実績	確保方策	42,654	41,266	39,644	0	0
	【参考】利用実績	20,025	22,226	24,305	0	0
達成率		80%	82%	84%	0%	0%

【こどもショートステイ事業(在宅型・施設型)】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,933	2,858	2,790	2,725	2,664
	確保方策	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
実績	確保方策	2,928	2,928	2,920	0	0
	【参考】利用実績	1,903	2,219	2,570	0	0
達成率		100%	100%	99%	0%	0%

【ファミリー・サポート・センター事業／子ども預かり・送迎支援事業(小学生)】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	7,830	7,124	6,505	5,963	5,485
	確保方策	20,697	18,984	17,467	16,077	14,817
実績	確保方策	15,434	13,354	12,431	0	0
	【参考】利用実績	5,843	7,878	7,053	0	0
達成率		75%	70%	71%	0%	0%

【病気の際の対応】

単位：人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	2,859	2,783	2,713	2,647	2,590
	確保方策	3,266	3,266	3,266	3,266	3,266
実績	確保方策	2,946	3,262	3,245	0	0
	【参考】利用実績	141	326	328	0	0
達成率		90%	100%	99%	0%	0%

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【養育支援訪問事業及び要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業】

(ア) 養育支援訪問事業

単位: 人日/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	842	898	959	1029	1091
	確保方策	○引き続き、「預かり・送迎支援」及び「育児・家事支援」の訪問事業を、NPO法人への委託により支援の量を確保し、支援が必要な家庭に対する相談・支援を進めていきます。				
実績	【参考】利用実績	421	1,033	898	0	0

(イ) 要保護児童対策地域協議会の開催

(ウ) 児童虐待予防講座等の実施

単位: 回

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	要保護児童対策地域協議会の開催	271	290	310	332	355
	児童虐待予防講座等の実施	13	13	13	13	13
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	275	268	293	0	0

【乳児家庭全戸訪問事業】

単位: 人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	4,300	4,100	4,100	4,000	3,900
	確保方策	○実施体制: 委託訪問指導員・保健師が自宅訪問 ○案内: 訪問連絡票を母子健康手帳に綴じ込み、チラシと一緒に配布しています。訪問連絡票未提出者には電話や通知で勧奨を行い、今後も引き続き、訪問率向上に努めていきます。				
実績	【参考】利用実績	3,558	3,626	3,562	0	0

【妊婦に対して健康診査を実施する事業】

単位: 人回/年

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	66,900	64,800	64,000	62,700	61,800
	確保方策	○実施場所: 都内委託医療機関、里帰り等助成(都外医療機関・助産所) ○検査項目・実施回数: 妊婦健診全14回/超音波検査2回/子宮頸がん検診1回 ○案内: 妊娠届出及び妊婦訪問時に妊婦健診の受診勧奨を、今後も引き続き実施していきます。				
実績	【参考】利用実績	53,219	51,935	50,301	0	0

子ども・子育て支援法に定める「確保方策」の進捗状況について

【利用者支援に関する事業】

単位:か所

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み					
	基本型・特定型	1	1	1	1	1
	母子保健型	6	6	6	6	6
	確保方策	○既に子ども施設入園課窓口での相談や子育てサロン等での出張相談の体制を構築しています。 ○今後も引き続き実施し、より適切で的確な保育サービス、子育てサービス等の選択、利用につながるよう支援していきます。 ○保健予防課と各保健センター等での「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト(ASMAP)」において、妊娠届出書の内容から支援が必要な妊婦を把握し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を今後も引き続き、行っていきます。 ○関係機関と連携することで育児不安や生活上の困難な状況も改善していきます。				
実績	【参考】利用実績	7	7	7	0	0

【実費徴収に係る補足給付を行う事業】

単位:人

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	量の見込み	1,129	1,102	1,073	1,043	1,014
	確保方策	○幼稚園等に在園する児童の保護者が、園に対して支払うべき給食費・教材費等の実費の一部について、低所得世帯・多子世帯を対象として補助します。				
実績	【参考】利用実績	1,319	1,310	1,191	0	0